

「東京キャラバン in 六本木」の実施について

東京都とアーツカウンシル東京が主催し、東京2020オリンピック・パラリンピックの文化プログラムの先導的役割を果たすプログラムとして始まった「東京キャラバン」が、「東京2020公認文化オリンピアド」としていよいよ六本木に登場します。

リオデジャネイロ及び東北(宮城・福島)において、様々なジャンルのアーティストが文化混流を繰り広げ生まれたパフォーマンスが、昨年駒沢で行われた「公開ワークショップ」での内容とも融合した「東京キャラバン」を、是非ご覧ください。

記

1 日時・場所

- ・日時：平成28年10月21日(金) 19時から20時まで
10月22日(土) 16時から17時まで
19時から20時まで
- ・場所：六本木ヒルズアリーナ
- ・入場料：無料

2 参加アーティスト等

- ・東京スカパラダイスオーケストラ (ミュージシャン)
- ・宮沢りえ (女優)
- ・津村禮次郎 (能楽師・観世流シテ方／観世流緑泉会代表、重要無形文化財保持者)
- ・“東京キャラバン” アンサンブル
- ・原 摩利彦 (音楽家)
- ・野田秀樹 (劇作家・演出家・役者・東京芸術劇場芸術監督)
- ・Otto Nascarella (ミュージシャン／ JONGO パーカッションニスト)
- ・Cridemar Aquino (JONGO ダンサー)
- ・Suellen Tavares Onixegum (JONGO ダンサー)
- ・Mestre Garrincha (カポエイラ パフォーマー)
- ・TAKESHI SATO (ペイントアーティスト)
- ・高橋組 (仙台すずめ踊り)
- ・金津流獅子躍
- ・マダム・レジーヌ、レイチェル ダ・ムール、松坂牛子、ジャスミン (ドラァグクィーン)
- ・Daisy Balloon (バルーン・アーティスト)
- ・その他

問い合わせ先

- ・東京都生活文化局文化振興部企画調整課 電話 03-5320-7736
- ・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
電話 03-6256-8432

3 観覧方法について

- ・ご観覧は、先着順、全席自由席となります。
- ・ご観覧希望のお客様は、当日お並び頂きました先着順で、各公演の開演20分前よりご入場いただけます。(公演開催前は、準備のため客席は一時的に閉鎖いたします)
- ・席種は、椅子席、栈敷席(地面着席)、お立ち見席となります。
- ・ご観覧希望のお客様は、当日、午前9時以降に設置されるサインに従ってお並びください。(午前9時より前には、お並びいただけませんので、ご協力お願い申し上げます。)
- ・整理券は配布いたしません。お並びいただきましたお客様お一人につき、一席のご案内となります。代表者による場所とりはできませんので、ご了承ください。
- ・混雑時は、整列のご案内をさせていただきます。また、観覧規制をさせていただく場合がございますので、予めご了承ください。

4 その他

- ・公演の詳細や最新情報については、東京キャラバン公式ウェブサイト(<http://tokyocaravan.jp>)にて随時お知らせいたします。

「東京都長期ビジョン」事業

本件は、「東京都長期ビジョン」における、以下の都市戦略・政策指針に係る事業です。

都市戦略3 「日本人のこころと東京の魅力の発信」

政策指針8 「芸術文化都市を創造し、日本文化の魅力を世界に発信」

東京2020公認文化オリンピックアード

東京キャラバン in 六本木

NEWS!!
オリンピックに沸くりオから地球の裏側へ、
宮城・福島を経て、ついに六本木に登場！



2016年8月にリオで行った「文化混流ワークショップ」の様子



2016年9月に宮城・福島で行った「文化混流ワークショップ」の様子

オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典であると同時に、文化の祭典でもあります。^(*)「東京キャラバン」とは、劇作家・演出家・役者である野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げた新たなムーブメントです。8月にオリンピック開催に沸くりオデジャネイロおよび9月に宮城・福島で、才能溢れる様々なジャンルの日本人アーティストが、現地のアーティストと出会い、国境、言語、文化や、それぞれのジャンルを超えた文化混流ワークショップおよび創作を行いました。

そして、ブラジルを出発点とし、東京キャラバンは国内外各地に出現し、「文化サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を越えた交流を、継続的に図っていきます。

(*) オリンピック・パラリンピックの「文化プログラム」

オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典であると同時に、文化の祭典でもあります。国際オリンピック委員会 (IOC) の「オリンピック憲章」には文化プログラムに関する条項があり、「OCOG (オリンピック競技大会組織委員会) は少なくともオリンピック村の開村から閉村までの期間、文化イベントのプログラムを催すものとする。当該プログラムはIOC理事会に提出し、事前に承認を得なければならない」(第5章・第39条)と定められています。東京大会では、スポーツ競技に先立ち、リオデジャネイロ 2016 オリンピック・パラリンピック競技大会後から 2020 年までの 4 年間にわたり開催されます。

参考文献：公益財団法人日本オリンピック委員会「オリンピック憲章 Olympic Charter 2015 年版・英和対訳 (2015 年 8 月 2 日から有効)」

■お問い合わせ及び取材申込

東京キャラバン広報事務局 森 明暁子 090-8811-4373 press@tokyocaravan.jp
奥野 将徳 080-5685-6159 press@tokyocaravan.jp
※その他、プロジェクト全般に関しては 東京キャラバン制作 丹 典子 info@tokyocaravan.jp

■主催：東京都、アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)



東京都

ARTS COUNCIL TOKYO



「東京キャラバン」とは？



2015年に行った「公開ワークショップ」の様子（撮影：井上嘉和）



2016年8月にリオで行った「文化混流」ワークショップの様子

野田秀樹が提唱する「人と人が交わるところに『文化』が生まれる。」というコンセプトに賛同する多種多様なアーティストが出会い、国境／言語／文化／表現ジャンルを超え“文化混流”ワークショップを行い、共に創作していく中で、新たな生き生きとした「文化」が生まれる。そうして生まれた「文化」を持って、日本全国をキャラバンして回ることで、各地においてまた新たな「文化」が生まれていく… そんな文化ムーブメントが「東京キャラバン」です。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを先導する都のリーディングプロジェクトのひとつとして始まった本プロジェクトの第一歩として、2015年、野田秀樹とともに、現代アーティストの日比野克彦、彫刻家の名和晃平が呼びかけ、演劇・美術・能・ファッション・伝統芸能・現代アートなどが一堂に会し、駒沢オリンピック公園のステージにて「公開ワーク

ショップ」が実施され、大きな反響を呼びました。

2016年の東京キャラバンは、さまざまな土地で出会った人々とともに、この先の未来へと続く、文化の種を育てていくきっかけとなる取り組みを行います。リオデジャネイロ 2016 オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、8月にリオデジャネイロにて現地アーティストを交えた“文化混流”ワークショップを行いました。9月には宮城および福島にて現地アーティストや子供たち、伝統芸能の担い手らとともに、さらなる“文化混流”ワークショップを実施しました。これらのワークショップを経て創作されたパフォーマンスが、10月に六本木ヒルズアリーナにて公開されます。

この活動は 2017 年以降も継続し、東京 2020 大会へ向け、さらに活動を充実させながら、全国各地にてワークショップおよび公演を実施し、東京 2020 大会以降の文化的な基盤を創ることを目指しています。

「東京キャラバン」コンセプト

「必要なのは、今、2020 年に向けての『物語』、そして、その『物語』が 2020 年を越えても続いていけるような、そんな『物語』を作ることではないのか？ 1964 年の東京オリンピックには、これで戦後が終わっていくのだ、日本がいよいよ世界に向かって復帰できるのだ、といった確固たる物語があったように思う。今回の東京オリンピックには、今、日本人を動かすべき、そうした大義名分のような『物語』を簡単に見つけることは難しいだろう。ただ、ある程度の大きさの『物語』を積み重ねることで、人々の「気運」を作ることはできる。

そして、盛り上がっていった「気運」の中からは、壮大な物語は生まれないと思う。（中略）そして、この東京キャラバンが日本中にばらまいた、目の前にある文化＝ライブの面白さ。それを経験した小さな子供たちの心の中に種は撒かれる。インターネットの普及で偏りがちになった文化とは、全く違う姿、目の前で息をしている人間が生み出す文化への興味を示してくれるようになり、その中から、新たな形態の文化を生み出すとき、この「東京キャラバン」という物語は、本当に壮大な物語になるだろう。」

野田秀樹（「東京キャラバン」構想より）

「東京キャラバン in 六本木」開催概要

期間：2016年10月21日（金）19時～20時
22日（土）16時～17時、19時～20時

場所：六本木ヒルズアリーナ

料金：入場無料（予約不要）

ご観覧方法：

- ・ご観覧は、先着順、全席自由席となります。
- ・ご観覧希望のお客様は、当日お並び頂きました先着順で、各公演の開演20分前よりご入場いただけます。（公演開催前は、準備のため客席は一時的に閉鎖いたします）
- ・席種は、椅子席、畳敷席（地面着席）、お立ち見席となります。
- ・ご観覧希望のお客様は、当日、午前9時以降に設置されるサインに従ってお並びください。（午前9時より前には、お並びいただけませんので、ご協力お願い申し上げます。）
- ・整理券は配布いたしません。お並びいただきましたお客様お一人につき、一席のご案内となります。代表者による場所とりはできませんので、ご了承ください。
- ・混雑時は、整列のご案内をさせていただきます。また、観覧規制をさせていただく場合がございますので、予めご了承ください。

公演に関するお問い合わせ先：info@tokyocaravan.jp

<東京キャラバン in 六本木>

東京キャラバンのコンセプトである、「人と人との出会いによる“文化”創造」を求め、8月にオリンピック開催中のリオデジャネイロにて現地アーティストらとの“文化混流”を行い、その熱気を携え帰国した東京キャラバン参加アーティスト。9月には日本全国津々浦々にキャラバンし文化サーカスを開催するための最初の第一歩として、震災により甚大な被害を受けた宮城や福島に赴きました。

こうして、リオデジャネイロでの“文化混流”によって生まれた「東京キャラバン in RIO」、そしてブラジルから地球の裏側、日本へ凱旋し、宮城・福島でのワークショップから生まれた「東京キャラバン in 東北」を、2015年の「東京キャラバン～プロローグ～」と融合し、さらに進化した「東京キャラバン 2016」として、六本木アートナイト開催中の六本木ヒルズアリーナでパフォーマンスを展開します。

「東京キャラバン in 六本木」参加アーティスト

東京スカパラダイスオーケストラ（ミュージシャン）

宮沢りえ（女優）

津村禮次郎（能楽師・観世流シテ方／観世流緑泉会代表、重要無形文化財保持者）

“東京キャラバン” アンサンブル

原 摩利彦（音楽家）

野田秀樹（劇作家・演出家・役者・東京芸術劇場芸術監督）

from RIO

Otto Nascarella（ミュージシャン／JONGO パーカッショニスト）

Cridemar Aquino（JONGO ダンサー）

Suellen Tavares Onixegum（JONGO ダンサー）

Mestre Garrincha（カポエイラ パフォーマー）

from 仙台

TAKESHI SATO（ペイントアーティスト）

高橋組（仙台すずめ踊り）

from 東京キャラバン 2015

金津流獅子躍

マダム・レジーヌ、レイチェル ダ・ムール、松坂牛子、ジャスミン（ドラァグクィーン）

Daisy Balloon（バルーン・アーティスト）

and more...